

観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和6年7月29日

1. 観光地域づくり法人の組織

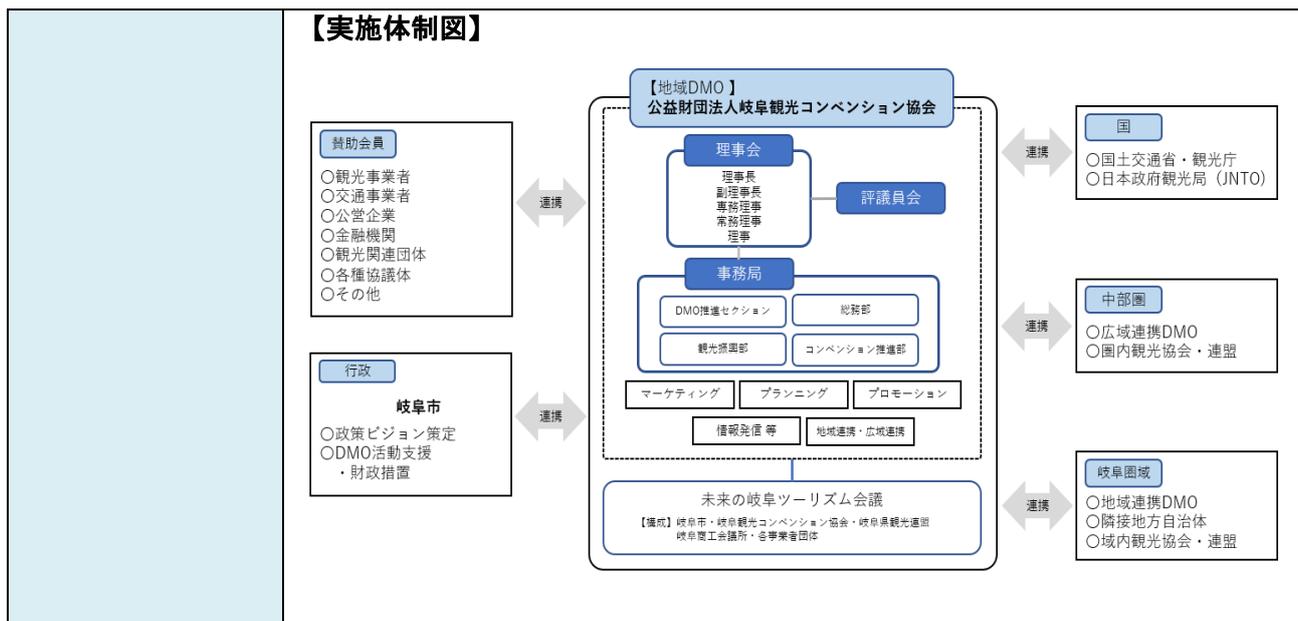
申請区分 ※該当するものを ○で囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO・ <u>地域DMO</u>	
観光地域づくり法人の名称	公益財団法人 岐阜観光コンベンション協会	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	岐阜県 岐阜市	
所在地	岐阜県岐阜市神田町1-8-5 協和興業ビル6階	
設立時期	平成元年5月24日 財団法人岐阜コンベンション・ビューロー設立 平成14年4月1日 岐阜市観光協会と統合し、財団法人岐阜観光コンベンション協会に名称変更 平成25年4月1日 公益財団法人へ移行し、現在に至る	
事業年度	4月1日から翌年3月31日までの1年間	
職員数	10人【常勤9人（正職員等3人・出向等6人）、非常勤1人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 村瀬 幸雄 （出身組織名） 岐阜商工会議所	平成26年3月、理事長に就任 岐阜商工会議所 会頭、並びに十六銀行を筆頭とする十六フィナンシャルグループの会長として岐阜市の財界を代表し、岐阜市及び岐阜県等の政界とのパイプ役として行政との調整や産業振興に幅広い見識を有する。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 安田 幸司「専従」 （出身組織名） 岐阜市	令和4年4月、事務局長に着任 着任以前は、鵜飼観覧船事務所、観光コンベンション課、産業拠点運営課等、観光行政に関わる部署に勤務し、現職に就任。岐阜市の観光及び産業振興に関して幅広い知識と経験を有する。
財務責任者（CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 石田 敦「専従」 （出身組織名） （株）十六銀行	平27年7月 常務理事に就任 地元金融機関の代表である（株）十六銀行の支店長を歴任し、公益財団法人の運営に精通しており、且つ資金確保及び管理にも長けている。 また、地元商店街等の関係者との意思疎通にも見識を持つ。

<p>観光事業・誘客プロモーション事業部門の責任者（専門人材） ※各部門責任者のうち専従の者については、氏名の右横に「専従」と記入すること</p>	<p>(氏名) 安田 章男「専従」 (出身組織名) 名鉄観光サービス (株)</p>	<p>令和5年4月、観光振興部長に就任 名鉄観光サービス株式会社に38年間勤務。在職中は台湾(台北市)と中国(上海)に計約12年の現地駐在経験を有し、現地では主に訪日旅行に関する業務に従事し、外国人の訪日旅行に精通している。現在は当協会の観光振興部門の責任者として国内外の誘客プロモーション事業等に従事している。</p>
<p>MICE事業部門の責任者（専門人材）</p>	<p>(氏名) 川上 千尋「専従」 (出身組織名) (株) JTB</p>	<p>令和3年4月、コンベンション推進部長に就任 株式会社JTBに37年間勤務。各地の支店及び株式会社JTB沖縄での勤務を経て、(公社)福井県観光連盟で観光推進業務、並びにコンベンション推進業務に従事。現在は当協会のコンベンション推進部門の責任者としてコンベンション誘致活動に従事している。</p>
<p>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</p>	<p>岐阜市 ・ぎふ魅力づくり推進部 ぎふ魅力づくり推進政策課（観光、文化及びスポーツ振興施策の企画・調査及び総合調整） 観光コンベンション課（観光客誘致、観光事業の推進、観光交流振興） ロケツーリズム推進室（ロケツーリズムの推進） 文化財保護課（文化財の保存と活用、歴史観光の推進） 鵜飼観覧船事務所（鵜飼観覧船運航業務、観覧船乗客の誘客） ・経済部 商工課（商店街活性化、伝統産業・工業の振興） 岐阜県 ・観光国際部 観光誘客推進課（広域連携誘客推進、国内外の観光展・商談会への参加、誘客支援） 観光国際政策課 サステイナブル・ツーリズム推進室 （サステイナブル・ツーリズムの推進、誘客支援） 関市 産業経済部 観光課（長良川流域地域連携） 美濃市 産業振興部 美濃和紙推進課（長良川流域地域連携） 郡上市 商工観光部 観光課（長良川流域地域連携）</p>	
<p>連携する事業者名及び役割</p>	<p><旅館組合、温泉組合、宿泊事業者> ・岐阜長良川温泉旅館協同組合 ・岐阜市旅館ホテル協同組合 ・一般社団法人岐阜ホテル会 （役割）旅行商品造成、宿泊人材育成及び表彰、推奨旅館認定 <交通事業者・交通インフラ> ・鉄 道：名古屋鉄道、東海旅客鉄道（JR東海） ・バ ス：岐阜乗合自動車（岐阜バス）、日タク観光バス、名鉄観光バス、岐阜羽島バス ・タクシー：岐阜市周辺観光タクシー運営協議会、岐阜県個人タクシー協同組合</p>	

	<p>(令和5年4月、6月、7月、令和6年2月×2回 / 内、4月、7月、2月の2回は書面開催)</p> <p>②行政、当協会、民間事業者の観光に見識が高い代表者で構成される「未来の岐阜ツーリズム会議」において事業素案を作成し、各事業者と連携した観光地域づくりを進める。</p> <p>「未来の岐阜ツーリズム会議」は、令和2年3月に岐阜市が策定した「岐阜市観光ビジョン」を推進するため、「市民、行政、事業者が一体となった推進体制」を構築することを目的として、令和5年2月に岐阜市と岐阜観光コンベンション協会が連携して立ち上げた会議体であり、観光地域づくり法人(DMO)の登録後は観光地域づくり法人(DMO)がその運営を担うこととしている。</p> <p>* 直近における未来の岐阜ツーリズム会議は、令和5年11月に「DMOについて～目指すべき姿について／組織体制について～」をテーマに開催。</p>				
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年1回、「ホスピタリティ講演会」を開催し、賛助会員のみならず、広く一般市民に向けて観光でのおもてなしに関するセミナーを開催。 <ul style="list-style-type: none"> * 令和4年度の開催実績 令和5年1月24日開催(参加者数 320人) * 令和5年度の開催実績 令和6年2月20日開催(参加者数 150人) ※資料は別添のとおり。 ・ また、年1回、岐阜市のイメージアップを図り、岐阜市の魅力を広くPRする事を目的とし「岐阜市観光フォトコンテスト」を開催。 <ul style="list-style-type: none"> * 令和5年度は、令和5年6月15日～12月15日に募集、令和6年1月5日に審査会を開き、受賞者を決定。受賞作品は1月29日～2月28日の間、市内2か所で展示し、広く市民に披露した。 ・ 8月に開催される長良川花火大会終了後の市民清掃活動 令和5年度の長良川花火大会実行委員会に参画し、清掃活動も実施した。 ・ 当協会の事業活動への取り組みやその取り組みに対する業績評価指数(KPI)については、関係する観光関連事業者等に対する情報共有は会員宛て発行する会報誌等で行っているものの、一般の地域住民に対しては上記行事以外では特段の共有は行っていなかったことから、今回の観光地域づくり候補法人への申請を契機に、当協会のホームページ等を利用して地域住民に対する直接的な情報共有を積極的に図ることとする。 				
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>【活動の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成14年に、財団法人岐阜コンベンション・ビューローと岐阜市観光協会が統合し、財団法人岐阜観光コンベンション協会として発足 ・ 岐阜市の観光及びコンベンションの振興を図り、国際相互理解の増進並びに地域経済の活性化及び文化の向上に資することを目的とする。 <table border="1" data-bbox="432 1675 1407 2020"> <thead> <tr> <th data-bbox="432 1675 619 1720">事業</th> <th data-bbox="619 1675 1407 1720">実施概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="432 1720 619 2020"> <p>情報発信・プロモーション</p> </td> <td data-bbox="619 1720 1407 2020"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多言語版ホームページやSNSを活用した情報発信事業 国内外の観光客に対し多言語版ホームページによる旅マエ、旅ナカの情報発信及びFacebookやInstagramによるタイムリーな情報提供の実施のほか、当協会と岐阜市のホームページで相互リンクを行うなど積極的な情報発信を実施 ・ 観光案内所の運営と情報発信事業 </td> </tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	<p>情報発信・プロモーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多言語版ホームページやSNSを活用した情報発信事業 国内外の観光客に対し多言語版ホームページによる旅マエ、旅ナカの情報発信及びFacebookやInstagramによるタイムリーな情報提供の実施のほか、当協会と岐阜市のホームページで相互リンクを行うなど積極的な情報発信を実施 ・ 観光案内所の運営と情報発信事業
事業	実施概要				
<p>情報発信・プロモーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多言語版ホームページやSNSを活用した情報発信事業 国内外の観光客に対し多言語版ホームページによる旅マエ、旅ナカの情報発信及びFacebookやInstagramによるタイムリーな情報提供の実施のほか、当協会と岐阜市のホームページで相互リンクを行うなど積極的な情報発信を実施 ・ 観光案内所の運営と情報発信事業 				

		<p>J R岐阜駅構内に岐阜市観光案内所を運営し、岐阜市を訪れる国内外のお客様に対してご相談に乗ると同時に、岐阜市の情報を発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ぎふ長良川メイツ」の派遣と活用 岐阜市をPRする専属宣伝モデル女子「ぎふ長良川メイツ」を観光物産展や各種イベントに派遣し、岐阜市の宣伝活動に活用 ・国内セールスプロモーション事業 大都市圏（東京、名古屋、大阪）での商談会への参加、国内旅行者へのセールスコールやキャラバンの実施 ・鉄道各社との連携事業 名古屋圏や中部国際空港を結ぶ名古屋鉄道、日本を東西に貫く幹線・東海道本線を有する東海旅客鉄道との連携事業の実施 ・海外インバウンド誘致事業 在日ランドオペレーター各社との商談会参加とセールスコール、日本政府観光局（J N T O）主催の各種セミナーや商談会参加、中部国際空港に就航する航空会社との連携事業の実施 ・M I C E誘致事業 ホームページ、岐阜市M I C Eプロモーション動画を活用し、各種商談会等に於いてデジタルプロモーションを実施するとともに、地方都市で構成する情報交換会や協議会に参画し、地方持ち回り開催案件総需要吸収のために首都圏の学協会事務局やP C O及び旅行会社等に誘致営業アプローチを展開
	受入環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの多言語化 当協会のホームページの多言語化が完成し、国内外の訪問客への便宜を図る * 令和5年8月17日公開（13か国語対応（日本語含む）） （日本語ホームページは、令和5年3月に公開） ・観光客の利便性向上 O T Aや電子クーポン（ぎふ旅コイン）など、デジタルを活用した宿泊施設の受入環境整備と市内各種事業者のキャッシュレス決済促進を実施 * 令和4年4月13日～6月29日 岐阜市・お得に宿泊キャンペーン 2022 春 * 令和4年7月20日～10月31日 岐阜市限定ぎふ旅コイン宿泊キャンペーン * 令和5年1月10日～2月27日 岐阜市限定ぎふ旅コイン宿泊キャンペーン（第2弾） ・岐阜市観光案内所の管理運営 岐阜市より受託し、J R岐阜駅構内に設置された岐阜市観光案内所の運営及び管理を実施 ・コンベンション誘致事業 M I C E施設や旅館・ホテルなど、市内のM I C E関係者を対象に「M I C Eセミナー」を開催し、国際M I C

		<p>E誘致に欠かすことのできないSDGsを学ぶ研修会を実施</p> <p>* 令和4年度の実績 11月28日開催（参加者数 15 団体 24 人）</p>
	<p>観光資源の磨き上げ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光振興事業推進 「岐阜市観光ビジョン」に示された事業内容の見直しと継続実施、日本遺産を活用した集客及び活性化に向けた事業の継続実施、観光展等でのアンケート調査やWEBサイトのアクセス状況の把握など今後の施策展開に必要なデータの蓄積 ・ インバウンド増進 JR岐阜駅構内に設置された岐阜市観光案内所に来訪する観光客等の属性（国籍、目的 等）を調査し、その対応方や設置するパンフレット類の種類及び数量に対する資料とすると同時に統計的な分析を行い、外国人誘客プロモーション活動に役立てる ・ MICEの推進 コンベンション管理システム（Data Library）を活用し、効率的な営業活動を実施するとともに、地方都市コンベンション関連団体データベース「情報共有システム」を活用し、地方持ち回り開催のコンベンション情報の把握と営業活動を実施
<p>実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。</p>		<p>【定量的な評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 岐阜市観光ナビ・ページビュー数（岐阜観光コンベンション協会ホームページ） 令和3年（2021年） 368,229 件 令和4年（2022年） 538,151 件（前年比 146.1%） * 岐阜市観光案内所・来場者数 令和3年（2021年） 24,152 人（内、外国人 195 人） 令和4年（2022年） 45,931 人（内、外国人 1,066 人） * コンベンション支援件数 令和3年（2021年） 22 件（経済波及効果額 25 億円） 令和4年（2022年） 58 件（経済波及効果額 30 億円） <p>【実施体制の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公益財団法人岐阜観光コンベンション協会が母体となり、行政、宿泊事業者、飲食事業者のみならず、観光コンベンション施設、交通事業者、文化財、公営公園、アクティビティ、農業、商工業等、多様な関係者が参画する官民が密接に連携した運営を実施 ・ 行政や商工会議所、宿泊業者や観光コンベンション施設、交通事業者など各事業者団体で構成する「未来の岐阜ツーリズム会議」を運営 ・ 「未来の岐阜ツーリズム会議」において、（公財）岐阜観光コンベンション協会が取得した各種データや分析結果を提示しつつ、関係者からの意見を聴取しながら地域として取り組むべき施策を検討 ・ この会議から出される提案・提言を受け、理事会による意思決定を踏まえ、施策の実施に向けた検討や各種サポートを行い、各事業者と連携した観光地域づくりを進める



2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域



【岐阜市周辺マップ】



【区域設定の考え方】

岐阜県の県庁所在地でもある岐阜市全域を対象区域とするが、市の中心部を清流・長良川が横断しており、主にこの長良川の南北地域に観光スポットが集積していることから、その区域を軸として市全域への誘客を図る。

長良川の南側地域は岐阜県庁や岐阜市役所など行政の中心であり、JR岐阜駅及び名鉄岐阜駅を窓口とする交通の要衝、且つ商業の中心でもあることから、正に岐阜市の玄関口である。

長良川沿いの地区には、1,300年の歴史と伝統を受け継ぐ「ぎふ長良川の鵜飼」、2015年に『信長公のおもてなし』が息づく戦国城下町・岐阜』として日本遺産・第1号に認定されている織田信長公所縁の「金華山と岐阜城」、漆箔により造立された国内最大規模の籠大仏「岐阜大仏（正法寺）」などの岐阜市の代表的な観光スポットはこの地域に集約されている。また、川沿いには茶褐色の炭酸鉄泉が特長の「長良川温泉」があり、旅館での宿泊や日帰りでの入浴も楽しみ、周辺では織田信長公時代の古いまちなみが残る川原町界隈の散策も楽しめる。

加えて、JR岐阜駅及び名鉄岐阜駅周辺には400軒余りの居酒屋等の飲食店が集積する玉宮（タマミヤ）地区があり、岐阜の郷土料理やご当地グルメに加え、岐阜県各地の地酒を求めて連日多くの人で賑わっている。特に近年は、駅前地区のビジネスホテルに宿泊する外国人観光客にも日本の「居酒屋体験」として好評を得ている。

また、JR岐阜駅の南部エリアには、旧中山道の宿場町であった加納宿があり、加納城址公園と共に市民や観光客の憩いの場となっていることに合わせ、岐阜市と名神高速道路岐阜羽島ICや東海道新幹線岐阜羽島駅を結ぶ幹線道路（県道1号線）沿いには、岐阜市の南の玄関である都市型道の駅「道の駅 柳津」があり、春には周辺の桜並木に多くの花見客が訪れるほか、近隣の境川緑道公園では散策やバードウォッチングが楽しめる。

一方、長良川の北側地域には岐阜市が世界に誇るコンベンション施設「長良川国際会議場」や世界標準の複合スポーツ施設「岐阜メモリアルセンター」等、国内外のMICE需要に応えられる施設が揃っている。

また、長良川の鵜飼を紹介・説明する「長良川うかいミュージアム（岐阜市長良川鵜飼伝承館）」、だるま観音として知られドウダンツツジでも有名な「大龍寺」、戦国武将の斎藤道三公ゆかりの「鷺山城址」や岐阜市の史跡に指定されている「黒野城址」等の観光スポットがある。

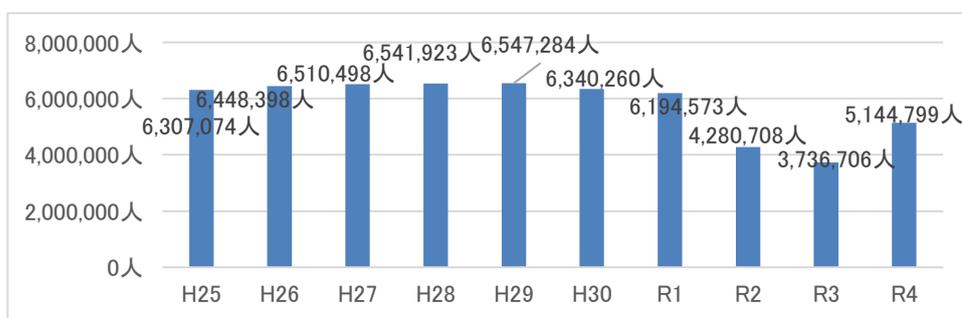
更には、四季を通じて自然観察・ジョギング・ウォーキング等を楽しめる「ながら川ふれあいの森」やハイキングや乗馬体験ができる「岐阜市畜産センター公園」、子供から大人まで多様な世代が一堂に楽しめる「岐阜ファミリーパーク」等の自然・文化施設が点在し、教育・文化地域も形成している。

加えて、東海環状自動車道の延伸区間でもあることから、名古屋圏を含む近隣縣市町村からも交通至便な立地となっている。

【観光客の実態等】

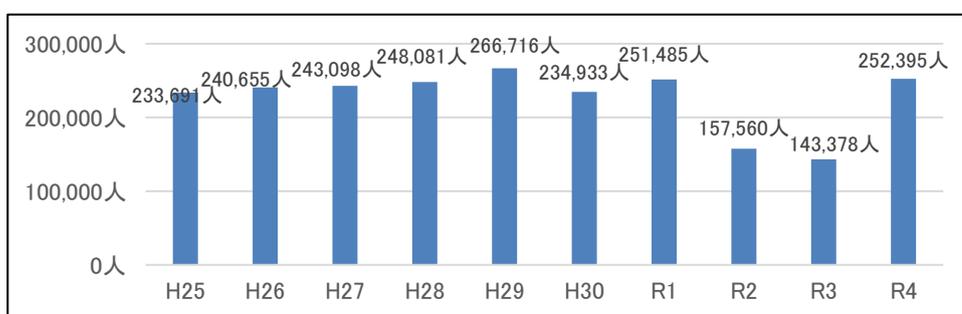
◆観光入込客数 ※岐阜県観光入込客統計調査より

暦年	入込客数
H30	6,340,260人
R1	6,194,573人
R2	4,280,708人
R3	3,736,706人
R4	5,144,799人



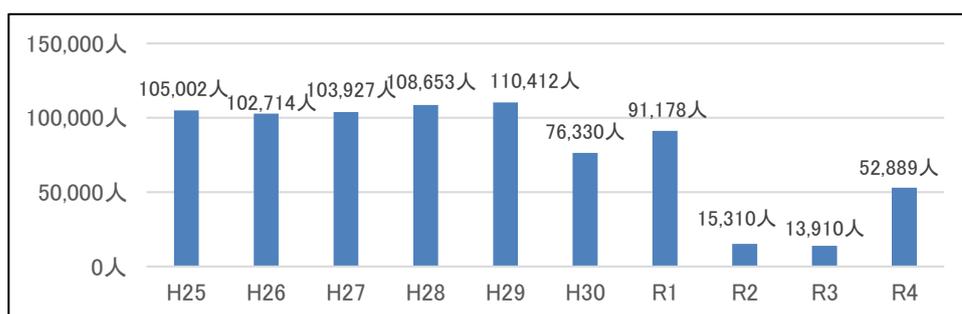
◆岐阜城入場者数

年度	入場者数
H30	234,933人
R1	251,485人
R2	157,560人
R3	143,378人
R4	252,395人



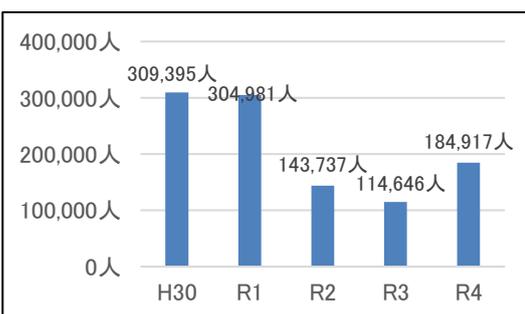
◆鵜飼観覧船乗船者数

年度	乗船者数
H30	76,330 人
R1	91,178 人
R2	15,310 人
R3	13,910 人
R4	52,889 人



◆宿泊者数（長良川温泉）

暦年	宿泊者数
H30	309,395 人
R1	304,981 人
R2	143,737 人
R3	114,646 人
R4	184,917 人



【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

<観光施設>

ぎふ長良川の鵜飼・鵜飼観覧船事務所、岐阜城、ぎふ金華山ロープウェー、ぎふ金華山リス村、岐阜公園、岐阜市歴史博物館、岐阜大仏（正法寺）、長良川温泉、川原町の古いまちなみ、長良川うかいミュージアム（岐阜市長良川鵜飼伝承館）、鵜飼の里、鵜飼観覧船造船所、崇福寺、常在寺、願成寺（中将姫誓願桜）、大龍寺（ドウダンツツジ、だるま供養）、岐阜シティタワー43・展望室、梅林公園、小紅の渡し、城址めぐり（加納城址、鷺山城址、革手城址、黒野城址、長森城址）、句碑めぐり（松尾芭蕉の句碑を中心にめぐる）

<商業施設>

マーサ 21、オーキッドパーク、カラフルタウン岐阜、MEGA ドン・キホーテ UNY 岐阜店、イオン柳津、岐阜駅前商店街、岐阜柳ヶ瀬商店街、世界のタマミヤ（玉宮町通り界隈の飲食店）

<自然・文化>

金華山、百々ヶ峰、権現山（登山道）、長良川（世界農業遺産）、清水緑地（桜の小径）、松尾池、岐阜公園、岐阜県美術館、岐阜市歴史博物館、加藤栄三・東一記念美術館、三甲美術館、みんなの森・ぎふメディアコスモス、鏡岩水源地・水の資料館、岐阜畜産センター、ながら川ふれあいの森、岐阜ファミリーパーク

<スポーツ>

岐阜メモリアルセンター（スポーツ複合施設）、岐阜ファミリーパーク、岐阜市民総合体育館、OKBぎふ清流アリーナ、金華山、百々ヶ峰、権現山（登山・ハイキング）

<イベント等>

ぎふ灯り物語、大龍寺だるま供養、玉性院節分つり込み祭、ぎふ鏡島長良川凧揚げ大会、全日本学生落語選手権、岐阜まつり協賛・道三まつり、手力の火祭、ぎふ長良川の鵜飼（開幕・閉幕）、長良川まつり、ぎふ長良川花火大会、岐阜城パノラマ夜景、大龍寺灯ろうまつり、岐阜市産業・農業祭「ぎふ信長まつり」、池ノ上みそぎ祭、こよみのよぶね

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

岐阜市内 宿泊施設 一覧

【旅館】

No.	宿泊施設名	和室 和洋室	露天付 客室	シングル	ツイン	ダブル	その他	合計	収容人員
1	十八楼	84	11					95	408
2	ホテルパーク	66		1	8			75	420
3	鶴匠の家 すぎ山	33	6		1			40	200
4	石金	12		2	2			16	66
5	料理旅館 翠々園 植東	5			2		2	9	36
6	旅館白楽荘	11		3				14	25
7	明山荘旅館	10						10	30
8	喜美恵旅館	12						12	20
9	旅館楽遊	12						12	25
合計		245	17	6	13	0	2	283	1,230

【ホテル】

No.	宿泊施設名	和室 和洋室	露天付 客室	シングル	ツイン	ダブル	その他	合計	収容人員
1	岐阜グランドホテル	73		6	69			148	480
2	都ホテル 岐阜長良川	3		26	141	6	16	192	358
3	天然温泉 金華の湯 ドーミーイン岐阜駅前			8	5	136	1	150	292
4	コンフォートホテル岐阜			168	51			219	270
5	ダイワロイネットホテル岐阜			179	17	10	1	207	235
6	岐阜ワシントンホテルプラザ			145	21	22		188	231
7	ホテル ルートイン岐阜県庁南			97	18	24		139	181
8	ホテルイルクレド岐阜			100	28	7		135	170
9	ホテルリソル岐阜			72	43	5		120	168
10	岐阜キャッスルイン	3		89	16		8	116	146
11	長良川清流ホテル	20		2	16	2		40	170
12	ニュー岐阜ホテルプラザ	1		25	23	11		60	101
13	サンホテル岐阜			36	4	4		44	52
14	岐阜グリーンホテル			20	10			30	40
15	ABホテル 岐阜			45	6	68		119	181
16	HOTEL THE TEXTILE			14	3	3		20	26
17	ホテルエンディア岐阜			83	18	12		113	217
18	ホテル スポーツパルコ			35	13	5		53	71
19	ビジネスホテルプラザ			60				60	60
20	Tabistビジネスホテル金園			31	3			34	37
21	ウィークリー翔 岐阜			36	1			37	38
22	ウィークリー翔 岐阜駅前	2		61	2			65	69
23	ビジネスホテルアサヒ			19	1	2		22	27
24	ホテルグランパーク			52	4	4		60	68
25	ビジネスホテルサンサミット			31		4		35	39
26	ゲストハウス東海長良川						4	4	16
27	ゲストハウス岐てん	1					2	3	15
28	鶴飼楽屋						1	1	6
29	ホテルリブマックス岐阜駅前			65	10			75	85
合計		103	0	1,505	523	325	33	2,489	3,849

【公的宿泊施設】

No.	宿泊施設名	和室 和洋室	露天付 客室	シングル	ツイン	ダブル	その他	合計	収容人員
1	岐阜県長良川スポーツプラザ	32		12	10			54	300
2	ホテルグランヴェール岐山	3		49	8	1		61	102
3	岐阜市少年自然の家			216				216	216
合計		35	0	277	18	1	0	331	618

【宿泊施設・総計】

施設区分	施設数	和室 和洋室	露天付 客室	シングル	ツイン	ダブル	その他	合計	収容人員
民間宿泊施設	38	348	17	1,511	536	325	35	2,772	5,079
公的宿泊施設	3	35	0	277	18	1	0	331	618
総計	41	383	17	1,788	554	326	35	3,103	5,697

令和5年6月13日現在

【利便性：区域までの交通、域内交通】



岐阜市へのアクセス

J R名古屋駅より 東海道本線・新快速列車で 最速 18 分
 (※東京より名古屋まで、東海道新幹線で 約 1 時間 40 分)
 (※新大阪より名古屋まで、東海道新幹線で 約 50 分)
 中部国際空港より 名鉄・特急 (ミュージスカイ) で 約 60 分

岐阜市から各地へ

高山市まで J R高山線・特急列車で 約 2 時間
 白川郷まで 車 (東海北陸自動車道経由) で 約 2 時間 15 分
 J R高山線と高速バスで 約 3 時間
 富山市まで J R高山線・特急列車で 約 3 時間 30 分
 京都まで 車 (名神高速道路経由) で 約 2 時間 30 分
 東京まで 車 (東名/名神高速道路経由) で 約 5 時間
 大阪まで 車 (名神高速道路経由) で 約 2 時間 20 分

【外国人観光客への対応】

JR岐阜駅構内に設置している「岐阜市観光案内所」は、日本政府観光局認定外国人観光案内所のカテゴリー2に認定されており、訪れる外国人観光客に対して様々な情報提供を行っている。

今後、ますます増加が見込まれる英語圏以外の外国人観光客に対する体制強化を図るため、過去実績を踏まえ、中国語は無論の事、タイ語をはじめとする東南アジア諸国の言語による対応を整備し、カテゴリー3の認定を目指す。

また、当協会のホームページであり、岐阜市の公式観光情報サイトである「岐阜市観光ナビ」及び「岐阜市コンベンションN a v i」、加えて、Facebook や Instagram など各種SNSによる多言語での情報発信を継続し、市内に於けるフリーW i - F i 施設の整備を促進する。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
延べ宿泊者数	宿泊者数の推移を把握するため。	岐阜長良川温泉旅館協同組合、岐阜ホテル会が実施する宿泊統計を活用して実施
旅行消費額	来訪者の消費活動の動向を分析し、消費単価向上に繋げるため。	ぎふ歴史遺産活用推進協議会と連携し、アンケート調査を実施
来訪者満足度	来訪者の満足（不満足）に繋がっている要因を分析し、戦略立案に繋げるため。	
リピーター率	リピーター顧客の動向を把握し、戦略立案に繋げるため。	
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	Google アナリティクスを活用して実施
Google ビジネスプロフィールのインサイトデータ	旅ナカにおける来訪者の興味・関心等を把握するため	Google ビジネスプロフィールを活用して実施
住民満足度	観光振興に対する地域住民の理解度を測るため。	行政（岐阜市）が実施する市民意識調査を活用して実施

4. 戦略

（1）地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

日本の総人口の減少傾向に比例し、岐阜市の人口も直近5年間で10,000人弱減少していると同時に、市内の各地区共に少子高齢化が顕著となってきており、就業者数も減少の一途を辿っている。これは岐阜市の観光産業においても同様で、観光の担い手の高齢化が進み、就業者や事業者も減少傾向にある。このような中、2020年に始まった新型コロナウイルス感染症の拡大により観光及びコンベンション（MICE）関連産業は非常に大きな打撃を受け、2023年現在、未だ完全回復できていないのが実状である。

このような状況下、岐阜市では観光振興に重点を置き、特に訪日外国人（インバウンド）市場の取り込みに力点を置く施策を組み、候補法人申請する地域DMOが中心となり、岐阜市を訪れる人々の満足度を高めるおもてなしの精神を市民で醸成し、加えて稼げる観光地の実現に向けた観光まちづくりを推進する。

(2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<p>強み (Strengths) ・自地域で積極的に活用できる強みは何か？</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 豊富な歴史・文化・自然資源 <ul style="list-style-type: none"> ・清流長良川に育まれた 1,000 年以上の歴史ある伝統文化（和紙、鵜飼、加工品など） ・洗練された文化を体験できるアクティビティ（鵜飼観覧船など） ・景観が美しい歴史文化資源（岐阜城など）と自然資源（金華山、清流長良川など）が長良川エリアに凝縮 ② ナイトタイムエコノミーの集積（玉宮、柳ヶ瀬、鵜飼、灯り物語、ロープウェイ夜間運行、花火等）と県内 3 位の宿泊施設の集積 ③ 80 万泊の宿泊客＋数百万人の日帰り客を受け入れており、十分な集客力がある ④ 旧いとう旅館のリノベーションなど魅力ある新たなコンテンツが増えている ⑤ M I C E のハコが豊富で、岐阜県の観光 M I C E の玄関口になっている ⑥ 岐阜公園の再整備が進んでいる ⑦ 先進医療の整った大病院が多い ⑧ ぎふ長良川の鵜飼の鵜匠は日本で唯一「宮内庁式部職」 ⑨ 世界の持続可能な観光地 100 選に選定 	<p>弱み (Weaknesses) ・自地域で改善を必要とする弱みは何か？</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 集客力があってもターゲットが定まらない <ol style="list-style-type: none"> (1) 富裕層向けのコンテンツ開発や受入体制が出来ていない（その結果、駅前にラグジュアリーな宿泊施設がない） (2) インバウンド誘客への投資の遅れ ② オフシーズン（夏季以外）の観光消費単価が上がらない ③ 観光情報発信が弱い ④ 観光のコアデータが取れておらず、それに基づいた戦略が立てられていない ⑤ 観光資源は多いが動線整備されておらず回遊しにくい（二次交通やサイン看板等） ⑥ 観光資源の集積地である長良川温泉・岐阜城下町が駅から離れており、飲食店が少ない（深夜、昼食） ⑦ 岐阜特有の土産品がなく、販売拠点が弱い ⑧ 温泉地らしい風情がない ⑨ 有力観光地との地域連携が出来ていない ⑩ バリアフリー、ユニバーサルデザインに対応した施設が少ない
外部環境	<p>機会 (Opportunity) ・自地域にとって追い風となる要素は何か？</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 名古屋からのアクセスがよく名古屋圏からの集客やゴールデンルートからの立ち寄りが見込める ② セントレアから直通で来れる ③ 関の刃物、美濃の街並みと和紙、郡上のアクティビティなど、宿泊設備の弱い地域を背後に抱えており、ハブ拠点になれる可能性がある ④ サステナブル・ツーリズムへの関心の高まりと政策的なプッシュ ⑤ 岐阜県が戦国観光を推進している ⑥ 名鉄が岐阜を最重点地域に位置づけ ⑦ 東海環状自動車道の全通 	<p>脅威 (Threat) ・自地域にとって逆風となる要素は何か？</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 名古屋に高級ホテルの立地が進むなど観光地としての実力が急速に上がっている ② 飛騨高山や白川郷の吸引力が強く素通りされてしまう ③ 観光客が「岐阜」という言葉で認識しているエリアが岐阜市ではなく、岐阜県全域であるため、相対的に情報発信量が多い飛騨地方にディステーションブランドを取られている

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

(3) ターゲット

○第1ターゲット層

本物志向で岐阜に興味を持つ首都圏の観光客

○選定の理由

岐阜市は、岐阜県、愛知県、三重県の東海地区からの来訪者が最も多く、次いで東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の首都圏からの来訪者が多いことから、首都圏からの来訪者をさらに増加させることで、本市への来訪者増を図る。

本市の、日本遺産に認定されている“「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜”の構成要素でもある岐阜城や織田信長公の居館があったとされる岐阜公園、さらには、清流・長良川に育まれた1,000年以上の歴史がある岐阜市の伝統文化（ぎふ長良川の鶺鴒、岐阜大仏など）や伝統工芸（提灯、和傘など美濃和紙を使用した工芸）は、首都圏の知的好奇心の旺盛なハイエンドユーザーが求める“本物志向”に対し訴求する事ができる。また、岐阜県が「日本の源流に出会える旅」をコンセプトにしたサステイナブル・ツーリズムに、近隣自治体である関市や美濃市の伝統工芸（関刃物や美濃和紙）を取り上げ、高山市や白川郷に加えて岐阜県内でさらにもう1泊を推奨する事案に連携し、岐阜市の伝統文化の本物志向への訴求を図り、併せて岐阜市での宿泊を推奨する事ができることから、ターゲットとして設定した。

- ・岐阜県観光入込客統計調査（令和4年度）
関東地方 5.1%（岐阜圏域）（岐阜県全域では6%）
- ・日本遺産観光アンケート結果（令和4年度 ギフ歴史遺産活用推進協議会実施）
東京都 6.5% 神奈川県 3.9% 千葉県 2.5% 埼玉県 2.5%

○取組方針

日本遺産の中核をなす「岐阜城」や洗練された伝統文化を体験できるアクティビティである「ぎふ長良川の鶺鴒」をフックとし、関連する文化・工芸を体験・体感できる商品を造成して広く周知・集客を図る。

ハイエンドユーザーが志向する「健康」をテーマとしたウォーキングや登山を活用して岐阜市の歴史に触れられる商品を造成して広く周知・集客を図る。

○第2ターゲット層

日本の歴史・文化が大好きな訪日外国人観光客

○選定の理由

コロナ禍の収束と共に、岐阜市へ訪れる訪日外国人観光客も戻りつつあるが、コロナ前の状況には完全には戻っていない。東アジアや東南アジアをはじめ、欧米豪地域でも日本の戦国武将が人気を博しており、戦国武将三英傑の一人であり、岐阜市と縁の深い武将の代表格でもある織田信長公をはじめとする武将をフックとし、岐阜県が推奨する訪日外国人市場向け武将観光と連携して誘客が見込める。

また、『「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜』が日本遺産・第1号に認定されており、その構成要素でもある岐阜城や岐阜公園に加え、1,300年以上の歴史を有し、織田信長公や徳川家康などの時の権力者に保護された「ぎふ長良川の鶺鴒」は岐阜市の代表的な観光資源であり、漆黒の闇の中、煌々と燃える篝火を川面に映して川を下りながら、伝統装束に身を包んだ鶺鴒匠と鶺鴒が一体となって鮎を追う様子は、まさに歴史・文化が好きな外国人観光客に訴求するには絶好のコンテンツである。

また、JR岐阜駅及び名鉄岐阜駅前地域に位置する玉宮（タミヤ）地区には400軒を超える居酒屋等の飲食店が集積しており、外国人観光客に対して気軽に日本の「居酒屋文化」を体験してもらえる強力なコンテンツであることから、ターゲットとして設定した。

・観光案内所外国人利用者数

令和4年度 1,066人（令和元年度比 30.5%）
 令和3年度 195人（令和元年度比 5.6%）
 令和2年度 210人（令和元年度比 6.0%）
 令和元年度 3,491人

○取組方針

岐阜城や岐阜公園での武将体験や川原町界隈の情緒溢れる古いまちなみの散策を取り上げた商品の造成や、岐阜県が取り組む関ヶ原古戦場（関ヶ原町）を舞台とする戦国武将観光と連携し、コロナ禍以前より岐阜県への中心的な入込国である台湾や香港からの観光客の県内2泊目誘致を図ると共に、より販路を拡大して欧米圏にも周知を図る。また、日本のアニメ好きな外国人観光客も多いことから、アニメに関する取り組みを絡めて、広域的な集客を図り、岐阜市での滞在・宿泊に結びつける。

○第3ターゲット層

MICEに参加して岐阜市を訪れる団体

○選定の理由

岐阜市は、国が提唱する国際コンベンション・シティ構想に基づき、昭和63年4月に、当時の運輸省（現・国土交通省）より国際コンベンション・シティの指定を受けている。

現在、「国際会議観光都市」として、国内の学術会議や各種国際会議及びイベントが開催できる複数の施設を所持しており、岐阜県の国際観光MICEの玄関としての役割を果たしている。

MICE参加者は、一般的な観光客に比べ、比較的滞在時間が長いと言われており、宿泊、飲食、観光等による大きな経済波及効果を生み出すことから、ターゲットとして設定した。

・当協会が関与したMICEによる経済波及効果（当協会独自積算）

令和4年度 30億円
 令和3年度 25億円
 令和2年度 109億円
 令和元年度 203億円

○取組方針

各種コンベンションの主催者、参加企業・団体等に対して観光とイベント・コンベンション支援策である「世界イベント村ぎふサポートプログラム」（コンベンションやイベントの実施に対する各種支援・助成、エクスカージョンの実施に対する支援・助成）を紹介し、当該プログラムを活用してもらう事で誘致に繋げる。

また、エクスカージョンの実施にあたっては、近隣自治体と連携した魅力ある行程を作成し、岐阜市の魅力と共に岐阜県の魅力をアピールする。

○第4ターゲット層

名古屋都市圏を中心としたアクティブな若年層

○選定の理由

各種調査の結果から、岐阜市への来訪者は50歳代以降の方が多く、JR東海道線の新快速を利用して約20分で往来可能な東海地域随一の大都市圏である名古屋圏に居住するアクティブに行動する若年層に対する取り組みが必要である。

岐阜市では、昼間帯は清流・長良川地域の自然文化をフックとし、ハイキング、サイクリング、登山などの体験で楽しんでもらえ、また、夜には、金華山山頂にそびえる「岐阜城」からの夜景や日本夜景遺産にも認定されている「ぎふ長良川の鵜飼」を楽しんだ後、居酒屋文化が集積する岐阜駅前地区での夜の岐阜市を楽しんで頂けることから、ターゲットとして設定した。

- ・ 日本遺産観光アンケート結果（令和4年度 ぎふ歴史遺産活用推進協議会実施）
 - ① 50歳代前半 16.1% ②50歳代後半 14.5% ③60歳代前半 11.2%
- ・ ぎふ長良川の鵜飼おまかせパック利用者アンケート結果（令和4年度 当協会実施）
 - ① 50歳代 35.7% ②40歳代 21.4% ③60歳代 19%
- ・ 岐阜県観光入込客統計調査（令和4年度）
 - ①60歳以上 32.5% ②50歳代 21% ※50歳代以上で 53.5%（岐阜圏域）

○取組方針

岐阜市が推す「ナイトタイムエコノミー」の各素材（岐阜城パノラマ夜景、ぎふ金華山ロープウェイの夜間運行、ぎふ長良川花火大会、ぎふ長良川の鵜飼、ぎふ灯り物語、世界のタマミヤ（玉宮）など）を活用し、短時間で往来可能な至近性を全面に謳い、旅する大人の気持ちが「アガル（上がる）」瞬間を愉しめる商品を造成し、広く周知及び集客を図る。

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	多様な人が手を結び、観光地域づくりを進めることで、持続可能な観光地として「清流・長良川」を活用した世界に通じる地域ブランドを構築し、子ども・若者が自慢したい、働きたい、住みたいと思えるまち・岐阜市
②コンセプトの考え方	<p>市中心部を流れる長良川のもたらす恵みは、人々の生活の営みの中で鵜飼漁などの技術のほか、和傘や提灯などの工芸、鮎鮎など鵜飼にまつわる食文化など岐阜市特有の川文化を育んできた。</p> <p>また、戦国時代、河川流通による物資の集積、運搬に注目した斎藤道三により、この地域の経済の中心として城下町が建設され、その後、新たな城主となった織田信長による楽市楽座などの振興策により岐阜の地は天下統一の礎の地となるまでに発展した。その名残は現在も中心市街地を構成する旧城下町として現在も地域の祭りやまちなみに残されている。</p> <p>その後、時代を下るごとに市域を広げながら、アパレル産業やサービス業など主要産業を変化させ、旧城下町のみではなく柳ヶ瀬商店街、岐阜駅周辺など広い範囲で発展してきたが、市民の意識の中では岐阜市の礎となった長良川に対する思いは変わらず、岐阜市民のシビックプライドとして息づいている。</p> <p>このような岐阜市が誇る豊かな歴史、文化、自然、資源と各コンテンツの集客力の高さを活かし、本物志向の観光客により上質な体験を提供していくとともに、駅前の飲食街やナイトタイムエコノミーといった岐阜市ならではのユニークな滞在価値を訴求し、観光地としての岐阜市エリアの価値を最大化していく。</p>

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	行政や商工会議所、宿泊業者や観光コンベンション施設、交通事業者など各事業者団体で構成する「未来の岐阜ツーリズム会議」（DMO会議）
	月1回程度開催し、各種データ及びその分析結果を共有しながらプロモーション戦略を練り、施策の方向性等について合意形成を図る。 さらに、地域の関係事業者に対しては、その結果等をホームページなどで公開するほか、当協会の発行する会報誌において事業の進捗を会員向けに報告する。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	地域の宿泊団体や土産品団体などが開催する会合等において、当協会が実施するマーケティングの結果を共有しながら、観光客に提供するサービスの「維持」・「向上」・「評価」の仕組みや体制を構築する。 この他、毎年、観光コンベンション事業の発展と振興に尽力した団体及び優良従業員を表彰し、観光及びコンベンションで来訪される観光客へのおもてなしの心を醸成する取り組みを実施している。 ・令和6年2月20日 令和5年度功労団体・優良従業員表彰を実施 表彰対象者：功労団体2団体 優良従業員：10社25名
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	ホームページやSNSアカウントを活用し、プロモーション動画や土産品、季節ごとの各地域の魅力等の「旅マエ」情報を地域一帯となって発信するほか、当協会と岐阜市や岐阜県観光連盟、地域の関係事業者との間でホームページで相互リンクを行うなど積極的な情報発信を行い、岐阜市への来訪者増を図る。 また、SNS等で「旅アト」情報を提供することで、岐阜を身近なものとして認識してもらい岐阜のファンを増やしていく。 なお、これについては、岐阜市と共同開催する「未来の岐阜ツーリズム会議」において共有した。 ※資料は別添のとおり

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. KPI（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

（1）必須KPI

指標項目		2021	2022	2023	2024	2025	2026
		(R3) 年度	(R4) 年度	(R5) 年度	(R6) 年度	(R7) 年度	(R8) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目標	— (—)	— (—)	29,897 (—)	32,139 (—)	34,550 (—)	37,141 (—)
	実績	16,744 (—)	27,811 (—)	36,156 (—)			
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	— (—)	— (—)	710 (67)	720 (86)	730 (110)	730 (113)
	実績	346 (3)	685 (20)	639 (63)			
●来訪者満足度 (%)	目標	— (—)	— (—)	80.0 (—)	82.5 (—)	85.0 (—)	85 (—)
	実績	— (—)	79.3 (—)	76.2 (—)			
●リピーター率 (%)	目標	— (—)	— (—)	55.0 (—)	57.5 (—)	60.0 (—)	62.5 (—)
	実績	— (—)	51.8 (—)	56.3 (—)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

岐阜市は、平成27年度に「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜」というストーリーで文化庁より日本遺産の認定を受けており、その後設立され、当協会も参画する「ぎふ歴史遺産活用推進協議会」が実施するアンケート調査の結果を中心とし、当協会のステークホルダーである岐阜長良川温泉旅館協同組合や岐阜ホテル会等が集積する各種データや、岐阜市が集約・管理する種々のデータを総合的に取り入れ、現状を把握した上で目標となる数値の設定を図る。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

実績値については、岐阜県観光入込客統計調査の岐阜市内の観光入込客数に基づき、日帰り・宿泊の一人当たり消費額を乗じる方法で算出した。令和7年度には、同様の計算方法で算出したコロナ前の旅行消費額に戻すことを目標とする。ただし、今後は、市内11箇所及び宿泊施設で実施するアンケート調査において、岐阜市滞在中の一人あたりの消費額を算出することを検討し、消費単価の引き上げを目指す。

●延べ宿泊者数

岐阜市内の宿泊事業者の宿泊統計を基に算出する。（ただし、令和2・3年度の実績値は、集計が不十分のため参考数値として記載）目標値については、岐阜ホテル会及び岐阜長良川温泉旅館協同組合が設定する目標値の合計値を設定する。

目標値については、コロナ後の宿泊客数の推移を参考にし、(一社)岐阜ホテル会、並びに岐阜長良川温泉旅館協同組合が設定する目標値の合計値を設定した。

なお、訪日外国人宿泊数の比率増進に努め、令和7年度には11万人(約115%)を目指す。

●来訪者満足度

市内11箇所及び宿泊施設で実施するアンケート調査において、岐阜市への再訪意向のうち、「必ず来たい」「また来たい」と回答した割合を計測する。令和4年度(9～3月)に実施したアンケート調査では、満足度が79.3%であったことから、更なるリピーターや旅行消費額等の増加を図るためにも、令和7年度には満足度85%を目指す。

●リピーター率

市内11箇所及び宿泊施設で実施するアンケート調査において集計する。岐阜市への来訪を一過性のものではなく継続的なものとするためには、リピーターの確保が重要であることから、リピーター率を設定する。令和5年度の数値は現在集計中であるが、令和5年9月末時点での伸び率(2.0%)を参考にし、令和7年度には年間2.5%増加のリピーター率60%を目指す。

(2) その他の目標

指標項目		2021	2022	2023	2024	2025	2026
		(R3) 年度	(R4) 年度	(R5) 年度	(R6) 年度	(R7) 年度	(R8) 年度
●WEBサイトのアクセス数(PV)	目標	— (—)	— (—)	807,000 (—)	887,700 (—)	976,470 (—)	1,074,117 (—)
	実績	368,229 (—)	538,151 (—)	919,633 (—)			
●住民満足度(%)	目標	— (—)	— (—)	59.0 (—)	59.5 (—)	60.0 (—)	60.0 (—)
	実績	57.9 (—)	59.0 (—)	56 (—)			
●ぎふ金華山ロープウェー利用者数(人)	目標	— (—)	— (—)	390,000 (—)	380,000 (—)	376,000 (—)	191,000 (—)
	実績	240,520 (—)	375,812 (—)	415,000 (—)			
●鵜飼観覧船使用料収入額(千円)	目標	— (—)	— (—)	266,267 (—)	294,517 (—)	294,517 (—)	294,517 (—)
	実績	45,222 (—)	184,715 (—)	236,166 (—)			
●メディア掲載回数(回)	目標	— (—)	— (—)	— (—)	策定中 ()	策定中 ()	策定中 ()
	実績	— (—)	— (—)	— (—)			
●MICE予約成立件数(件)	目標	— (—)	— (—)	— (—)	策定中 ()	策定中 ()	策定中 ()
	実績	— (—)	— (—)	— (—)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

- 持続可能（サステナブル）な観光地域づくりを目指す上で、必須となる項目をピックアップした。
- ・ 岐阜市の顔となって情報発信の要となるホームページや各種SNSの活用は必須であり、WEBサイトのアクセス数は重要な指標となる。そこから得られるデータを活用しながら、より強力に岐阜市の魅力を発信する。
 - ・ 住民の満足度を量る事は、観光地域づくりを目指す上で最重要項目であり、地域住民を巻き込んだ観光地経営に寄与する指標であると考え。
 - ・ ぎふ金華山ロープウエーの利用客数を把握する事は、岐阜市のシンボリック的存在である金華山の山頂に位置し、日本遺産の中核を為す岐阜城への来訪者数を把握する上で、非常に重要なデータとなる。
 - ・ ぎふ長良川の鶺鴒は、岐阜市の観光を代表するキラーコンテンツであり、岐阜市の観光を語る上では欠かすことのできない観光素材である。この乗船実績を把握することは、岐阜市の観光の未来像を想定する最重要項目である。
 - ・ これまでの岐阜市の観光政策におけるウィークポイントは、露出不足による情報発信力の弱さがあった。これを補うためにはメディアを活用した露出が非常に重要であると考え、有効な露出目標を設定する。
 - ・ 岐阜市は、観光の他にもコンベンション・シティとしてMICE市場を重要視している。様々な会議やコンベンション、イベントに参加する来訪者の宿泊、飲食、小旅行による経済効果は、非常に大きなものであることから、今後のMICE獲得を目指すための指標としてデータを活用する。

【設定にあたっての考え方】

●WEBサイトのアクセス数

閲覧者のニーズを捉え、情報を必要とする方に適切に発信するため、Google アナリティクスを活用して閲覧数や地域別アクセス数を計測する。目標値については、令和4年度にホームページのリニューアルを行ったことから、令和5年度は前年の150%増とし、その後は年間10%増を想定して設定した。

令和4年度のホームページのリニューアルを実施したところ大幅にPV数が伸びており、令和5年9月末時点での上半期伸び率162%を参考に令和5年度の目標値を前年の150%と設定した。また、より魅力的な情報発信を行い、岐阜市への来訪者増を目指すためにもさらに年間10%増を目指す。

●住民満足度

岐阜市の観光に誇りを持つ市民の増加を図るため、岐阜市が実施する市民意識調査の「織田信長ゆかりの岐阜城やぎふ長良川の鶺鴒文化などの観光資源の豊かなまちだと思いますか」との設問に、「思う」「どちらかといえば思う」と答えた人の割合を計測し、岐阜市の観光資源に対する誇り・満足度を測る。（今後は岐阜市への来訪推奨度を図ることができる内容となるよう、調査項目の見直しを検討する。）

目標値については、満足度は年々上昇傾向にあるものの、コロナ禍により観光に対する満足度の増加を見込むことが難しいため、令和5年度を前年同数値59%と設定し、過去の実績を基に令和7年度には60%とすることを目指し、その後は年間0.5%増を目標とする。

●ぎふ金華山ロープウエー利用者数（人）

岐阜市の中心部にある金華山は、同様に中心部を流れる清流長良川と並び、岐阜市のシンボリック存在となっている。金華山山頂には岐阜城が再建されており、観光に訪れる方の多くはロープウエーを利用されることから、利用者数を指標とする。

令和5年度については現在の実績に基づいて目標値を設定するが、令和6年度以降は岐阜城の改修工事が行われることを考慮して設定した。

●鵜飼観覧船使用料収入額（千円）

ぎふ長良川の鵜飼は、岐阜市を代表する伝統文化であり観光資源であるうえ、キラコンテンツとなっている。このぎふ長良川の鵜飼を魅力的、且つサステナブルなものとしていくためには消費額の拡大が重要であることから、観覧船使用料の収入額を指標とする。

令和5年度については乗船客数に基づいて算出した数値を設定するが、令和6年度以降については乗船客数だけでなく、料金改定や高級観覧船の利用増による料金収入の増加を見込んで設定する。

●メディア掲載回数（回）

岐阜市への誘客を図る上でも、WEBでの情報発信のほか、メディア、新聞・雑誌など、各種媒体を活用したプロモーション活動は非常に重要である。そのため、メディア等への露出回数を計測し、その回数を増加させることで、岐阜市の認知度向上を図る。なお、件数の集計にあたっては、今後、定期的に開催する会議において各事業者から件数の報告を受けることとする。

●MICE予約成立件数（件）

岐阜市への誘客を進めるためのターゲットに、MICEに参加して岐阜市を訪れる団体を設定したこともあり、そのターゲットに対し、積極的なアプローチを行い、岐阜市へのMICE誘致を図っていく必要があることから指標として設定する。なお、件数の集計にあたっては、今後、定期的に開催する会議において各事業者から件数の報告を受けることとする。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に（1）収入、（2）支出を記入すること。

※現に活動している法人にあつては、過去3年間の実績も記入すること。

(1) 収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2021（R3） 年度	120,762,916（円）	（円） 【基本財産運用益】 137,014 【特定資産運用益】 1,800 【受取会費】 4,825,500 【事業収益】 2,278,000 【受取受託金】 12,895,303 【受取負担金】 99,629,276 【受取出捐金】 920,000 【雑収益】 76,023
2022（R4） 年度	129,433,055（円）	（円） 【基本財産運用益】 137,014 【特定資産運用益】 1,300 【受取会費】 9,528,500 【事業収益】 6,582,900 【受取受託金】 13,665,476 【受取負担金】 97,063,232 【受取出捐金】 2,140,000 【雑収益】 2,000,000

2023 (R 5) 年度	115,454,593 (円)	(円) 【基本財産運用益】 147,000 【特定資産運用益】 1,294 【受取会費】 8,981,000 【事業収益】 10,637,750 【受取受託金】 14,005,200 【受取負担金】 74,771,944 【受取出捐金】 6,336,000 【雑収益】 2,000,000
2024 (R 6) 年度 (予算)	123,150,000 (円)	(円) 【基本財産運用益】 147,000 【特定資産運用益】 3,000 【受取会費】 12,000,000 【事業収益】 12,500,000 【受取受託金】 14,500,000 【受取負担金】 70,000,000 【受取出捐金】 12,000,000 【雑収益】 2,000,000
2025 (R 7) 年度 (見込)	123,150,000 (円)	(円) 【基本財産運用益】 147,000 【特定資産運用益】 3,000 【受取会費】 12,000,000 【事業収益】 12,500,000 【受取受託金】 14,500,000 【受取負担金】 70,000,000 【受取出捐金】 12,000,000 【雑収益】 2,000,000
2026 (R 8) 年度 (見込)	123,150,000 (円)	(円) 【基本財産運用益】 147,000 【特定資産運用益】 3,000 【受取会費】 12,000,000 【事業収益】 12,500,000 【受取受託金】 14,500,000 【受取負担金】 70,000,000 【受取出捐金】 12,000,000 【雑収益】 2,000,000

(2) 支出

年 (年度)	総支出	内訳 (具体的に記入すること)
2021 (R 3) 年度	112,661,099 (円)	(円) 【公益目的事業】 102,128,919 ・ 観光事業費 (63,039,032) ・ コンベンション事業費 (6,126,435) ・ その他 (32,963,452)

		【収益事業費】 2,794,791 【その他事業費】 1,875,533 【法人会計】 6,361,856	
2022 (R4) 年度	127,037,286 (円)	【公益目的事業】 111,779,431 ・観光事業費 (69,019,243) ・コンベンション事業費 (8,315,745) ・その他 (34,444,443) 【収益事業費】 6,971,160 【その他事業費】 1,329,697 【法人会計】 6,956,998	(円)
2023 (R5) 年度	118,688,350 (円)	【公益目的事業】 99,283,318 ・観光事業費 () ・コンベンション事業費 () ・その他 () 【収益事業費】 11,008,825 【その他事業費】 1,503,632 【法人会計】 6,892,505	(円)
2024 (R6) 年度 (予算)	123,150,000 (円)	【公益目的事業】 103,150,000 ・観光事業費 (59,000,000) ・コンベンション事業費 (10,000,000) ・その他 (34,150,000) 【収益事業費】 11,000,000 【その他事業費】 1,500,000 【法人会計】 7,500,000	(円)
2025 (R7) 年度 (見込)	123,150,000 (円)	【公益目的事業】 103,150,000 ・観光事業費 (59,000,000) ・コンベンション事業費 (10,000,000) ・その他 (34,150,000) 【収益事業費】 11,000,000 【その他事業費】 1,500,000 【法人会計】 7,500,000	(円)
2026 (R8) 年度 (見込)	123,150,000 (円)	【公益目的事業】 103,150,000 ・観光事業費 (59,000,000) ・コンベンション事業費 (10,000,000) ・その他 (34,150,000) 【収益事業費】 11,000,000 【その他事業費】 1,500,000 【法人会計】 7,500,000	(円)

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

国等の補助金や岐阜市からの負担金など公的資金の活用と確保を図るほか、観光誘客事業による資金確保を検討するとともに、DMOの財源とするべく宿泊税の導入に向け、岐阜市と連携して専門的知見での意見をいただきながら検討していく。

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

岐阜市としては、(公財)岐阜観光コンベンション協会がこれまで本市の観光施策に基づいた誘客宣伝等を進めてきた実績とノウハウを持つ法人であり、本市の観光振興や交流人口の拡大、地域経済の活性化につなげるため(公財)岐阜観光コンベンション協会が地域DMOとしての役割を担うことが最も適切であると考えます。

よって、ここに岐阜市は、(公財)岐阜観光コンベンション協会を本市における地域DMOとして登録したいので、(公財)岐阜観光コンベンション協会とともに申請します。

9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO(県単位以外)や地域DMOと重複する場合の役割分担について(※重複しない場合は記載不要)

【他の地域連携DMOや地域DMOとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った(行っている)か】

今回の申請にあたっては、長良川流域の4市(岐阜市、関市、美濃市、郡上市)を対象区域とする地域連携DMO「特定非営利活動法人ORGAN」を含む地域のステークホルダーとの打ち合わせを行っており、双方の協力体制構築等に関する相互理解を得ている。

【区域が重複する背景】

地域連携DMOである「特定非営利活動法人ORGAN」は、岐阜県と長良川流域4市(岐阜市、関市、美濃市、郡上市)で構成する「長良川流域観光促進協議会」と連携し、主に長良川の上・中流地域における流域観光の推進及び課題解決に向けた取組を行っているため。

※「長良川流域観光促進協議会」とは、世界農業遺産に登録されている「清流長良川の鮎」を活用した周遊・滞在型の観光地づくりを目途として、岐阜県(観光国際部・観光国際政策課・サステイナブル・ツーリズム推進室)及び長良川流域の4市(岐阜市、関市、美濃市、郡上市)の官民連携で設立された組織で、長良川が育む自然、文化、産業等を保全しつつ、観光活用する持続可能な観光地域づくりを進めている。

【重複区域における、それぞれのDMOの役割分担について】

地域連携DMOである「特定非営利活動法人ORGAN」は、長良川流域4市の「周遊促進」に主眼を置いた取組を実施し、当協会(岐阜観光コンベンション協会)は地域DMOとして、主に岐阜市内の観光及びコンベンション振興に主眼を置いた取組を実施する。

【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

「特定非営利活動法人ORGAN」と事業計画や事業の進捗状況等を一定期毎に情報共有し、的確な役割分担と連携を適宜図ることで、効率的且つ効果的な事業展開を図ることができる。

10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	安田 章男
担当部署名（役職）	観光振興部（部長）
郵便番号	500-8833
所在地	岐阜県岐阜市神田町1-8-5 協和興業ビル6階
電話番号（直通）	058-266-5588
FAX番号	058-266-5995
E-mail	dmo@gifucvb.or.jp

11. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	岐阜市
担当者氏名	
担当部署名（役職）	ぎふ魅力づくり推進部 観光コンベンション課
郵便番号	500-8701
所在地	岐阜県岐阜市司町40番地1
電話番号（直通）	058-265-3984
FAX番号	058-214-2440
E-mail	kankou@city.gifu.gifu.jp

都道府県・市町村名	岐阜市
担当者氏名	武山 慎也
担当部署名（役職）	ぎふ魅力づくり推進部 ぎふ魅力づくり推進政策課 政策係 係長
郵便番号	500-8701
所在地	岐阜県岐阜市司町40番地1
電話番号（直通）	058-265-3980
FAX番号	058-214-2440
E-mail	gifumiryoku-sei@city.gifu.gifu.jp

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

岐阜県 岐阜市

【設立時期】 平成元年5月24日

【設立経緯】 ③区域の観光協会がDMOに移行

【代表者】 村瀬 幸雄

【マーケティング責任者(CMO)】 安田 幸司

【財務責任者(CFO)】 石田 敦

【職員数】 10人(常勤9人(正職員3人・出向等6人)、非常勤1人)

【主な収入】

会費・事業収益 16百万円、負担金他 112百万円(令和4年度決算)

【総支出】

事業費 120百万円、法人会計 6.9百万円(令和4年度決算)

【連携する主な事業者】

岐阜長良川温泉旅館協同組合、岐阜市旅館ホテル協同組合、一般社団法人岐阜ホテル会、交通事業者、観光土産品事業者、観光事業者、旅行業者、報道・メディア関係者、登録DMO法人(一般社団法人岐阜県観光連盟、NPO法人ORGAN)

KPI(実績・目標)

記入日: 令和6年7月29日

※()内は外国人に関するもの。

項目		2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年	2026 (R8)年
旅行消費額 (百万円)	目標	— (—)	— (—)	29,897 (—)	32,139 (—)	34,550 (—)	37,141 (—)
	実績	16,744 (—)	27,811 (—)	36,156 (—)	—	—	—
延べ 宿泊者数 (千人)	目標	— (—)	— (—)	710 (67)	720 (86)	730 (110)	730 (113)
	実績	346 (3)	685 (20)	639 (63)	—	—	—
来訪者 満足度 (%)	目標	— (—)	— (—)	80.0 (—)	82.5 (—)	85.0 (—)	85.0 (—)
	実績	— (—)	79.3 (—)	76.2 (—)	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	— (—)	— (—)	55.0 (—)	57.5 (—)	60.0 (—)	62.5 (—)
	実績	— (—)	51.8 (—)	56.3 (—)	—	—	—

戦略

【主なターゲット】

- ①本物志向で岐阜に興味を持つ首都圏の観光客
- ②日本の歴史・文化が大好きな訪日外国人観光客
- ③MICEに参加して岐阜市を訪れる団体
- ④名古屋都市圏を中心としたアクティブな若年層

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

日本遺産「岐阜城」と「長良川の鶴飼」をフックとした伝統と健康志向のプロモーションを実行し、併せて岐阜駅前周辺に集積する飲食店を活用した夜の岐阜市を楽しむプランを造成し、国内の観光客は勿論の事、MICE旅客や訪日外国人観光客に対しても誘客を図り、加えて岐阜市内で宿泊を伴う旅行への誘致も行う。

【観光地域づくりのコンセプト】

多様な人が手を結び、観光地域づくりを進めることで、持続可能な観光地として「清流・長良川」を活用した世界に通じる地域ブランドを構築し、子ども・若者が自慢したい、働きたい、住みたいと思えるまち・岐阜市

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】

- ・鶴飼高級観覧船の就航及び新造船の就航に係る商品造成及び送客の支援
- ・日本遺産を活用した誘客・集客及び活性化に向けた事業の継続実施

【受入環境整備】

- ・デジタル技術を活用したキャッシュレス決済等による観光客の利便性向上
- ・賛助会員及び市民を対象とした「おもてなしセミナー」の実施
- ・まちなか案内人及びボランティアガイドの育成に対する支援

【情報発信・プロモーション】

- ・ホームページのリニューアルと多言語化
- ・SNS等を活用した情報発信の強化
- ・MICE誘致セールス、MICE開催支援プログラムの実施
- ・商談会への出席(東京、名古屋、大阪、インバウンド)
- ・JR岐阜駅観光案内所を活用した外国人観光客の属性調査の実施
- ・国外の旅行博・商談会への出展と現地旅行会社へのセールスコールの実施

